

外国語科

1 第5学年及び第6学年の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生きて働く知識・技能の習得

外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2)未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

(3)学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 年間指導計画の活用にあたって

(1)指導時間数は、次のように配当しています。

年間総時数	1学期	2学期	3学期
70	23	30	17

(2)活用上の留意点

「指導時期」「指導時数」は、学校、学級の実態に応じて適宜修正してください。

3 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて

外国語教育における学習過程としては、児童が①設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解する、②目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てる、③目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う、④言語面・内容面で自ら学習のまとめと振り返りを行う、といった流れの中で、学んだことの意味付けを行ったり、既得の知識や経験と、新たに得られた知識を言語活動で活用したりすることで、「思考力、判断力、表現力等」を高めていくことが大切になります。

○児童がコミュニケーションを行う目的をきちんと理解し、「やってみたい」「学んでみたい」という高い意欲を持つことができるようにする。

○教師や友だちの英語を聞いたり、英語でやり取りをしたりすることを通して、英語の音声、語彙、表現などに気づき、自ら取り入れることができるようにする。

○持っている知識や技能を総動員して、目的・場面・状況に応じて活用することができるようにする。

4 道徳教育との関連について

外国語科における道徳教育の指導においては、学習活動や学習態度への配慮、教師の態度や行動による感化とともに、外国語科と道徳教育との関連を明確に意識しながら、適切な指導を行う必要があります。

○世界の中の日本人としての自覚を持ち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献すること。

○外国語の学習を通して、他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的思考ができるような人材を育てること。

○外国語科の年間指導計画の作成に際して、道徳教育の全体計画との関連、指導の内容及び時期等に配慮し、両者が相互に効果を高め合うようにする。

5 単元年間配当一覧表(第5学年)

学期	月	Unit 等	題材名	配当時間
1 学 期	4	Let's start	1 4つの「たいせつ」	2
			2 さまざまな場面の英語	
			3 アルファベット	
			4 教室で使う英語	
			5 数字	
	5	Unit 1	Hello, everyone.	6
		Alphabet Time 1	アルファベット大文字	
	6	Unit 2	When is your birthday?	6
Alphabet Time 2		アルファベット小文字		
7	Unit 3	What do you have on Monday?	8	
	Alphabet Time 3	アルファベット大文字・小文字		
	Review	世界の友達1(オーストラリア、フランス)		1
			1 学 期 時 間 数	23
2 学 期	9	Unit 4	What time do you get up?	8
		Fun Time 1	文字遊び／英語の歌／やってみよう	
	10	Unit 5	He can run fast. She can do <i>kendama</i> .	6
		Fun Time 2	文字遊び／英語の歌／やってみよう	
	11	Unit 6	I want to go to Italy.	8
		Fun Time 3	文字遊び／英語の歌／学びをつなげよう	
		Unit 7	What would you like?	
	12	Fun Time 4	文字遊び／英語の歌／やってみよう	
		Review	言葉について考えよう 伝わる表現を選ぼう 世界の友達2(フィリピン、パラグアイ)	2
			2 学 期 時 間 数	30
3 学 期	1	Unit 8	Where is the gym?	8
		Fun Time 5	文字遊び／英語の歌／英語の物語	
	2	Unit 9	My hero is my brother.	8
		Fun Time 6	文字遊び／早口言葉／英語の歌	
	3	Review	世界の友達3(中国、イギリス)	1
			3 学 期 時 間 数	17
			年 間 総 時 間 数	70

6 目標、評価規準、評価基準の関係

(1) 単元名 Unit 2 When is your birthday? (6時間扱い)

(2) 単元の目標

誕生日や誕生日にほしいプレゼントをたずね合うことができる。

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日や誕生日にほしいものについて聞いて理解したり、たずね合ったりすることができる。[聞く、話す(やりとり)] ・誕生日や誕生日にほしいものをたずね合い、誕生日カレンダーを作ることができる。[話す(やりとり)、書く]
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と誕生日や誕生日にほしいものをたずね合う。[話す(やりとり)] ・各月の世界の祭りや行事の映像を見て、気がついたことについて考えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日のプレゼントをあげるときや受け取るときの表現を工夫しようとしている。 ・粘り強く学習に取り組んでいる。また、ふりかえりシートなどを利用して自ら学習を調整しようとしている。

(3) 本時の目標(6時間取り扱い中5時間目)

誕生日にほしいものをたずね合うことができる。

(4) 評価規準

誕生日や好きなもの、ほしいものを聞き取ったり、それらについてたずねたり答えたりして伝え合っている。

(5) 評価基準

○What do you want for your birthday? I want …の表現を使って、友達と誕生日にほしいものをたずね合っている。 《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)

○学習した表現を使って、誕生日にほしいものをたずねたり答えたりしようとしている。

《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)

○自分がほしいものを書くことができる。 《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)

(6) 具体化の留意点

ア 好きなものやほしいものを聞き取ることが不十分な場合、中学年で慣れ親しんだ好きなものを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりして思い出させるとともに、I like soccer. What sport do you like? のように、自分が好きなものを表す表現を聞かせてから尋ね、意味のあるやり取りの中で表現の定着を図るようにする。また、「指導者の誕生日についての短い話を聞き取る」活動において、指導者がくり返し好きなもの、ほしいものを言い、十分に表現を聞かせるようにする。

イ デジタル教材を視聴する際は、耳だけで聞き取ろうとせず、表情やジェスチャーなどの音声以外の非言語情報が内容理解の助けになることを確認する。

ウ 好きなものやほしいものとして、“TV game.”等の単語で答えた児童がいる場合は、“Oh, you like TV games. I like TV games, too.”と文で言い換えるとともに、十分満足できる児童の具体的なやり取りを称賛して紹介し、ポイントを板書等で示したり、理由を尋ねるやり取りのモデルを示したりすることで、会話のひろげ方や反応の示し方等を確認する。

エ ゲーム等のルールとしてだけではなく、相手の言ったことを繰り返すことは、Small Talk 等で対話を続けるための方策であるということについて体験を通して伝え、学習改善につなげる。

オ Alphabet Time では、書く前に、児童と一緒にアルファベットの読み方や4線上の位置について確認

してから始める。また、デジタル教材で音声を流す際には、目を閉じさせたり、文字が TV 画面に映らないようにしたりして、聞くことに集中できるよう配慮する。

7 各単元の計画

Let's start	1 4つの「たいせつ」／言葉の準備運動 2 さまざまな場面の英語 3 アルファベット 4 教室で使う英語 5 数字	題材	挨拶, アルファベット, 数字など
		教科書ページ	p.10-p.18
単元目標 【Goal】	(中学年の復習が中心)	配当時間	2時間
		学習時期	4月中旬
言語材料	<p>表現 ・ Let's start 4 教室で使う英語</p> <p>先生からみなさんへ Hi, everyone. How are you? Are you ready? Please make pairs. Good job!</p> <p>Goodbye, everybody.</p> <p>みなさんから先生へ Hi, (Ms. Collins). I'm fine. Thank you. Yes, we are. OK. It's fun! Thank you.</p> <p>Goodbye, (Mr. Sato).</p> <p>語彙 ・ Let's start 1 4つの「たいせつ」／言葉の準備運動</p> <p>私・あなた (you), 人やものを説明する (fine, happy, hungry, sad, sleepy, tired), are, hi, oh</p> <p>・ Let's start 2 さまざまな場面の英語 (なし)</p> <p>・ Let's start 3 アルファベット</p> <p>人 (king, queen), 食べ物 (egg), 飲み物 (milk), 果物と野菜 (apple, banana, lemon), 身につけるもの (hat), 身の回りのもの (box, ink, notebook, pencil, umbrella, watch), 町 (yacht, zoo), 生き物など (cat, dog, fish, gorilla, octopus, rabbit, tiger), 活動 (jump), スポーツ (soccer, volleyball)</p> <p>・ Let's start 4 教室で使う英語</p> <p>私・あなた (we), 人やものを説明する (fun, good), 活動 (make), everybody, everyone, goodbye, how, I'm, it's, job, Mr., Ms., OK, pair, please, ready, thank you, yes</p> <p>・ Let's start 5 数字</p> <p>数 (zero, one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten, eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen, eighteen, nineteen, twenty, twenty-one, thirty, forty, fifty, sixty)</p>		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	・ 英語を聞いて、対応する場面を選ぶことができる。 ・ アルファベット, 教室で使う英語, 0-60 の数字などを聞いたり、言ったりすることができる。	○				
		○	○			
思考・判断・表現	・ 相手に伝わるコミュニケーションについて考えている。					
主体的に学習に取り組む態度	・ 他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションをとろうとしている。					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
1	p.10 -p.11	<p>Let's start 1 4つの「たいせつ」 コミュニケーションの基礎となる他者への配慮と主体性を育む。</p> <p>◆4つの「たいせつ」 「笑顔・アイコンタクト・はっきりとした声・相手の言葉への反応」の4つに気をつけて、伝え合う。また、それぞれの大切さに気づく。</p> <p>◆Warm Up 【言葉の準備運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな気持ちを Hi. の挨拶にこめて言い、気持ちを当て合う。気持ちを伝えるためには、どんな工夫ができるか考える。 ・気づきを生かさう【活動の振り返り】 4つの「たいせつ」と Warm Up 「言葉の準備運動」を振り返り、気づいたことを話し合う。また、これからの学習に生かしたいことを書く。 	<p>◆Warm Up</p> <p>■他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションをとろうとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
	p.12 -p.13	<p>Let's start 2 さまざまな場面の英語 さまざまな場面の英語を聞いて、中学年の外国語活動で触れた表現を振り返る。</p> <p>◆Let's listen. 【挨拶、買い物、教室など】 中学年で触れた表現や語彙を使った会話から、それぞれの場面に合ったイラストを選ぶ。</p>	<p>◆Let's listen.</p> <p>■中学年で学習した語句や表現を理解している。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
2	p.14 -p.15	<p>Let's start 3 アルファベット アルファベットの音と文字に触れる。</p> <p>音声に合わせて、指で文字を追いながらアルファベットを順番に言ったり、ABC の歌を歌ったりする。また、絵を見て知っている語があれば言う。</p>	<p>■アルファベットを聞いたり、言ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
	p.16 -p.17	<p>Let's start 4 教室で使う英語 教室で使う英語の表現を知る。</p> <p>始めと終わりの挨拶や、呼びかけと応答など、授業の中で使う英語の表現を聞いたり言ったりする。</p>	<p>■相手に伝わるコミュニケーションについて考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
	p.18	<p>Let's start 5 数字 0～60 までの数字を聞いたり、言ったりする。</p> <p>教科書 p.18 の数字を指さしたり、英語で数字を使ったゲームをしたりする。</p>	<p>■0-60 までの数字を聞いたり、言ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>

Unit 1	Hello, everyone.	題材	自己紹介
		教科書ページ	p.20-p.29 Alphabet Time 舎
単元目標 【Goal】	名前や好きなものを言って、自己紹介をすることができる。	配当時間	6時間
		学習時期	4月下旬～5月中旬
言語材料	表現 【Step 1】 My name is How do you spell it? 【Step 2】 Do you like ...? Yes, I do. / No, I don't. I like / I don't like What sport [color / fruit / TV program] do you like? I like 語彙 私・あなた(I, me), 活動(spell), 果物と野菜(fruit), 身の回りのもの(TV), 色と形(color, red), スポーツ(sport), do, hello, it, like, name, program, too		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア)挨拶をする(初対面) Nice to meet you. (ア)相づちをうつ Me, too. (オ)質問する A: What sport do you like? (B: I like basketball.) 一言フレーズ (ア)挨拶をする Hi. Hello. (初対面) Nice to meet you. Response 【Step 1】 Thank you. 【Step 2】 Me, too.		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 名前や好きなものを聞いて理解したり、たずね合ったりすることができる。 自分の名前を名刺に書くことができる。 	○	○			○
思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 名前や好きなものを言って自己紹介をし合う。 世界の小学生の自己紹介の映像を見て、気がついたことについて考えている。 		○			
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 初対面の人と親しくなるために、自己紹介を工夫しようとしている。 粘り強く学習に取り組んでいる。また、ふりかえりシートなどを利用して自ら学習を調整しようとしている。 					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Hop!】自己紹介をするための言い方を知る。			
1	p.20 -p.21	<目標> アニメーション映像を通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ○英語の歌【ABCの歌】(p.14-p.15) ◆Story【(場面)学校内での自己紹介】 アニメーション映像を使って、単元のトピックを導入する。 ◆Let's play.【キーワードゲーム】 アルファベットカードを使って、キーワードゲームを行う。(大文字)	◆Let's play. ■アルファベットを聞いて、正しい文字を選ぶことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)
【Step 1】名前をつづりをたずね合う。			
2	p.22 -p.23	<目標> 名前をつづりをたずね合う言い方を知る。 ○英語の歌【ABCの歌】(p.14-p.15) ◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen.【名前とつづり】 名前とそのつづりをたずねる会話から正しいつづりを聞き取る。 ◆Let's chant.【How do you spell it?】 チャンツを使って、Step1の表現に慣れる。 ◆Let's play.【登場人物たちの名前を覚える】 How do you spell it?の表現を使って、登場人物の名前とつづりをたずね合う。 ○Alphabet Time 1 ①(p.28-p.29) 先生が読み上げるアルファベットを絵の中から探す。(大文字)	◆Let's listen. / ◆Let's play. ■名前をつづりを聞いて理解したり、たずね合ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Step 1】名前のつづりをたずね合う。			
3	p.22 -p.23	<目標>名前のつづりをたずね合う。	◆Let's try. ■My name is How do you spell it? の表現を使って、友達と名前のつづりをたずね合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検) ■相手に配慮しながら、名前のつづりをたずねたり答えたりしようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検) ◆Let's write. ■自分の名前を書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)
		◆Let's chant. 【How do you spell it?】 第2時のチャンツを再度歌い、Step 1 の表現の復習をする。 ◆Let's play. 【登場人物たちの名前を覚える】 第2時で扱った活動を再度行う。(復習) ◆Let's try. 【名前とそのつづりをたずね合う】 自分の名前とそのつづりについて、児童同士でやりとりをする。 ◆Let's write. 【自分の名前を書く】 ○Alphabet Time 1 ② (p.28-p.29) 大文字の形に注目して、グループ分けを考える。	
【Step 2】好きなものをたずね合う。			
4	p.24 -p.25	<目標>好きなものをたずねたり答えたりする言い方を知る。	◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 2 の表現を確認する。 ◆Let's listen. 【好きなもの】 登場人物の会話から、好きなものを聞き取る。 ◆Let's chant. 【I like red.】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。 ◆Let's play. 【同じ色が好きな友達を見つける】 好きな色をたずね合い、同じ色が好きな友達とグループをつくる。 ○Alphabet Time 1 ③ (p.28-p.29) アルファベット順に、大文字カードを並べる。
		◆Let's listen. / ◆Let's play. ■好きなものについて聞いて理解したり、たずね合ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)	
5	p.24 -p.25	<目標>好きなものをたずね合う。	◆Let's try. ■What sport do you like? I likeなどの表現を使って、友達と好きなものをたずね合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検) ■学習した表現を使って、友達と好きなものをたずねたり答えたりしようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検) ◆Let's write. ■好きなものを表す表現をなぞり書きできる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)
		◆Let's chant. 【I like red.】 第4時のチャンツを再度歌い、Step 2 の表現の復習をする。 ◆Let's play. 【同じ色(果物、スポーツ)が好きな友達を見つける】 第4時で扱った活動を、テーマを果物やスポーツに変えて再度行う。 ◆Let's try. 【好きなものをたずね合い、人気のあったものを発表する】 ◆Let's write. 【自分が好きなものについてかく】 ○Alphabet Time 1 ④ (p.28-p.29) 聞こえてきたアルファベットの文字をなぞり書きする。	
【Jump!】名刺を交換して自己紹介をする。			
6	p.26 -p.27	<目標>世界の小学生の自己紹介を聞く。名刺を交換して自己紹介をする。	◆World Tour ■映像を見て内容を理解し、気がついたことについて考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検) ◆You can do it! ■自分の名前を名刺に書き、それを使って自己紹介をしている。《知識・技能》《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検) ■初対面の人と親しくなるために、自己紹介を工夫しようとしている。《態度》(行動観察・発表観察・ふりかえりシートの点検)
		◆World Tour 【世界の小学生の自己紹介】 映像を見て、世界の小学生の名前や好きなものについて考えを深める。 ◆Let's chant. 【How do you spell it?】【I like red.】 (p.22, p.24) Step 1 と Step 2 のチャンツを再度声に出す。 ◆You can do it! 【自己紹介】 名刺を交換して、自己紹介をし合う。	

Unit 2	When is your birthday?	題材	行事・誕生日
		教科書ページ	p.30-p.39 Alphabet Time 含
単元目標 【Goal】	誕生日や誕生日にほしいプレゼントをたずね合うことができる。	配当時間	6時間
		学習時期	5月下旬～6月上旬
言語材料	表現 【Step 1】 When is your birthday? My birthday is 【Step 2】 What do you want for your birthday? I want 語彙 身に着けるもの(cap), 身の回りのもの(bag, cup, pencil case), 月・日にち・曜日(birthday, January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December), 活動(see), 色と形(pink), a, is, want, when, your		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア)相づちを打つ Wow. (イ)「驚きを表す」Really? (ア)繰り返す(前の話者のセリフを繰り返す) Oh, July 15th? (イ)礼を言う Thank you very much. 一言フレーズ (ア)相づちを打つ Wow. Response 【Step 1】 I see.		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 誕生日や誕生日にほしいものについて聞いて理解したり, たずね合ったりすることができる。 誕生日や誕生日にほしいものをたずね合い, 誕生日カレンダーを作ることができる。 	○	○			
思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と誕生日や誕生日にほしいものをたずね合う。 各月の世界の祭りや行事の映像を見て, 気がついたことについて考えている。 		○			
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 誕生日のプレゼントをあげるときや受け取るとき表現を工夫しようとしている。 粘り強く学習に取り組んでいる。また, ふりかえりシートなどを利用して自ら学習を調整しようとしている。 					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Hop!】誕生日や身の回りのものの言い方を知る。			
1	p.30	<目標> アニメーション映像を通じて, 本単元のトピックや語彙に触れる。 ○英語の歌【ABCの歌】(p.14-p.15) ◆Story【(場面)友達の誕生日プレゼント選び】	◆Let's play. ■身の回りのものを表す語句を聞いて, 正しい絵を選ぶことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)
	-p.31	アニメーション映像を使って, 単元のトピックを導入する。 ◆Let's play.【ポインティングゲーム】 身の回りのものを表す語句を使って, ポインティングゲームを行う。	
【Step 1】誕生日をたずね合う。			
2	p.32 -p.33	<目標> 誕生日や日付の言い方を知る。	◆Let's listen. / ◆Let's play. ■月と日付を聞いて理解したり, たずね合ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)
		○英語の歌【ABCの歌】(p.14-p.15) ◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って, Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen.【誕生日の日付】 誕生日についてたずねる会話から日付を聞き取る。 ◆Let's chant.【When is your birthday?】 チャンツを使って, Step1の表現に慣れる。 ◆Let's play.【コネクト3】 月の名前を縦軸, 序数を横軸にしたシートでゲームを行う。 ○Alphabet Time 2 ①(p.38-p.39) 教科書のアルファベット迷路を行う。	

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Step 1】誕生日をたずね合う。			
3	p.32 -p.33	<p><目標>誕生日をたずね合う。</p> <p>○英語の歌【ABCの歌】(p.14-p.15)</p> <p>◆Let's chant. 【When is your birthday?】 第2時のチャンツを再度歌い、Step 1の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【コネクト3】 第2時で扱った活動を、シートを変えて再度行う。(復習)</p> <p>◆Let's try. 【誕生日をたずね合い、早い順に並ぶ】 誕生日について、児童同士でやりとりをし、誕生日の早い順に並ぶ。</p> <p>◆Let's write. 【自分の誕生日のある月を書く】</p> <p>○Alphabet Time 2 ②(p.38-p.39) 小文字の形や高さに注目して、グループ分けを考える。</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■When is your birthday? My birthday is ...の表現を使用し、友達と誕生日をたずね合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、誕生日をたずねたり答えたりしようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■自分の誕生月を書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Step 2】誕生日にほしいプレゼントをたずね合う。			
4		<p><目標>誕生日にほしいものをたずねたり答えたりする言い方を知る。</p> <p>◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 2の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen. 【誕生日にほしいもの】 会話から誕生日にほしいものを聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【I want a pink pencil case.】 チャンツを使って、Step 2の表現に慣れる。</p> <p>◆Let's play. 【誕生日プレゼントゲーム】 What do you want for your birthday?の表現を使用し、ゲームを行う。</p> <p>○Alphabet Time 2 ③(p.38-p.39) アルファベット順に小文字カードを並べる。</p>	<p>◆Let's listen. / ◆Let's play.</p> <p>■誕生日にほしいプレゼントについて聞いて理解したり、たずね合ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
5	p.34 -p.35	<p><目標>誕生日にほしいものをたずね合う。</p> <p>◆Let's chant. 【I want a pink pencil case.】 第4時のチャンツを再度歌い、Step 2の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【誕生日プレゼントゲーム】 第4時で扱った活動を、形式を変えて行う。(復習)</p> <p>◆Let's try. 【誕生日にほしいものをたずね合う】 誕生日にほしいものをたずね合う。</p> <p>◆Let's write. 【自分がほしいものを1つ書く】</p> <p>○Alphabet Time 2 ④(p.38-p.39) 聞こえてきたアルファベットの文字をなぞり書きする。</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■What do you want for your birthday? I want ...の表現を使って、友達と誕生日にほしいものをたずね合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、誕生日にほしいものをたずねたり答えたりしようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■自分がほしいものを書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Jump!】誕生日カレンダーを作るためにたずね合う。			
6	p.36 -p.37	<p><目標>世界の行事について聞く。誕生日カレンダーを作る。</p> <p>◆World Tour 【世界の祭りや行事】 映像を見て、世界の祭りや行事について考えを深める。</p> <p>◆Let's chant. 【When is your birthday?】 【I want a pink pencil case.】(p.32, p.34) Step 1とStep 2のチャンツを再度声に出す。</p> <p>◆You can do it! 【誕生日と誕生日にほしいもの】 誕生日と誕生日にほしいものをたずね合い、カレンダーを作る。</p>	<p>◆World Tour</p> <p>■映像を見て内容を理解し、気がついたことや見てみたい祭りや行事について考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆You can do it!</p> <p>■学習した表現を使って、友達と誕生日や誕生日にほしいものをたずね合い、誕生日カレンダーを作っている。《知識・技能》《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■誕生日のプレゼントをあげるときや受け取るときの工夫点を考えている。《態度》(行動観察・成果物の評価・ふりかえりシートの点検)</p>

Unit 3	What do you have on Monday?	題材	学校生活・教科
		教科書ページ	p.40-p.49 Alphabet Time 含
単元目標 【Goal】	教科や曜日など時間割について伝えることができる。	配当時間	8時間
		学習時期	6月中旬～7月中旬
言語材料	表現 【Step 1】 What subjects do you like? I like... and.... 【Step 2】 What do you have on...? I have..., ..., and....		
	語彙 月・日にち・曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday), 教科 (arts and crafts, calligraphy, English, home economics, homeroom, Japanese, math, moral education, music, P.E., period for integrated study, science, social studies, subject), activity, and, clean, club, for, have, lunch, nice, on, really, that's, time, what		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 相づちを打つ I see. Me, too. (ア)「間をつなぐ」 Well, (オ) 質問する How about you?		
	一言フレーズ (オ) 質問する How about you? Response 【Step 1】 Really? 【Step 2】 That's nice.		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 好きな教科や時間割を聞いて理解したり, たずね合ったり, 書いたりすることができる。 時間割についての音声を聞いて, 文字を指でさすことができる。 オリジナル時間割を作って, 紹介することができる。 	○	○		○	○
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 教科や曜日など時間割について伝える。 世界の小学生が時間割を紹介する映像を見て, 気がついたことについて考えている。 		○	○		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 時間割について考え, 自身のこれからの学習に生かそうとしている。 粘り強く学習に取り組んでいる。また, ふりかえりシートなどを利用して自ら学習を調整しようとしている。 					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Hop!】教科や時間割の言い方を知る。			
1	p.40 -p.41	<p><目標>アニメーション映像を通じて, 本単元のトピックや語彙に触れる。</p> <p>○英語の歌【ABCの歌】(p.14-p.15) ◆Story【(場面)家庭にて, 明日の学校の準備】 アニメーション映像を使って, 単元のトピックを導入する。 ◆Let's play.【キーワードゲーム】 教科名の語句を使って, キーワードゲームを行う。</p>	<p>◆Let's play. ■教科名を聞いて理解することができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Step 1】好きな教科をたずね合う。			
2	p.42 -p.43	<p><目標>好きな教科のたずね方と伝え方を知る。</p> <p>○英語の歌【ABCの歌】(p.14-p.15) ◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って, Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen.【世界の小学生の好きな教科】 世界の小学生の好きな教科を聞き取る。 ◆Let's chant.【What subjects do you like?】 チャンツを使って, Step 1の表現に慣れる。 ◆Let's play.【教科名を当てる】(教師と児童) What subjects do you like? と I like....の表現を使用し, ゲームを行う。 ○Alphabet Time 3 ①(p.48-p.49) 大文字から小文字への変化を考える。</p>	<p>◆Let's listen. / ◆Let's play. ■好きな教科について聞いて理解したり, たずねたりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Step 1】好きな教科をたずね合う。			
3	p.42 -p.43	<p><目標>好きな教科をたずね合う。</p> <p>◆Let's chant. 【What subjects do you like?】 第2時のチャンツを再度歌い、Step 1 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【教科名を当てる】 第2時で扱った活動を児童同士(班ごと)に行う。</p> <p>◆Let's try. 【好きな教科をたずね合う】 友達と好きな教科をたずね合う。</p> <p>◆Let's write. 【自分の好きな教科を書く】</p> <p>○Alphabet Time 3 ② (p.48-p.49) カードを使って、アルファベットの大きい文字と小さい文字をペアにする。</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■What subjects do you like? I like...の表現を使い、好きな教科をたずね合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使い、好きな教科をたずねたり答えたりしようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■自分の好きな教科を書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
		【Step 2】各曜日の時間割をたずね合う。	
4	p.44 -p.45	<p><目標>曜日と時間割の言い方を知る。</p> <p>◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 2 の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen. 【ティナの時間割】 ティナの時間割を聞いて、曜日と教科名を聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【I have math, music, and English.】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。</p> <p>◆Let's play. 【コネクト3】 教科名を縦軸、曜日を横軸としたシートでゲームを行う。</p> <p>○Alphabet Time 3 ③ (p.48-p.49) 大文字から小文字へアルファベットの線つなぎを行う。</p>	<p>◆Let's listen. / ◆Let's play.</p> <p>■曜日と時間割について聞いて理解したり、たずね合ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
		<p><目標>各曜日の時間割をたずね合う。</p> <p>◆Let's chant. 【I have math, music, and English.】 第4時のチャンツを再度歌い、Step 2 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【コネクト3】 第4時で扱ったゲームを再度行う。</p> <p>◆Let's try. 【世界の小学生の時間割について分かったことを発表する】 ワークシートを使って、世界の小学生の時間割について伝え合う。</p> <p>◆Let's write. 【月曜の教科を1つ書く】</p> <p>○Alphabet Time 3 ④ (p.48-p.49) アルファベットの形や高さを比べながら文字をなぞる。</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■What do you have on...? I have...の表現を使い、世界の小学生の時間割をたずね合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使い、世界の小学生の時間割をたずね合おうとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■月曜日に学習する教科を書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Jump!】オリジナル時間割を作って紹介する。			
6	p.46 -p.47	<p><目標>オリジナル時間割について考える。</p> <p>◆World Tour 映像を見て、世界の小学生の時間割と好きな教科について考えを深める。</p> <p>◆Let's chant. 【What subjects do you like?】 【I have math, music and English.】(p.42, p.44) Step 1 と Step 2 のチャンツを再度声に出す。</p> <p>◆Let's listen and read. 音声で慣れ親しんだ単語(語句)を文字で確認する。</p> <p>◆You can do it! 【オリジナル時間割の作成】 グループで、オリジナル時間割を作成する。</p>	<p>◆World Tour</p> <p>■映像を見て内容を理解し、気がついたことについて考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's listen and read.</p> <p>■時間割についての音声聞いて、単語(語句)を指でさすことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
		<p><目標>オリジナル時間割を作って紹介する。</p> <p>◆You can do it! 【オリジナル時間割の発表練習】 グループで、第6時に作成したオリジナル時間割を伝える練習をする。</p> <p>◆You can do it! 【オリジナル時間割の発表】 グループごとに、作成した時間割を使って発表する。</p>	<p>◆You can do it! ★パフォーマンス評価</p> <p>■グループでオリジナル時間割を作って紹介している。《知識・技能》《思考・判断・表現》(発表・成果物評価)</p> <p>■聞き手に配慮して、オリジナル時間割を発表しようとしている。《態度》(発表評価)</p>
7	p.46 -p.47	<p><目標>オリジナル時間割やスペシャル教科について話す。</p> <p>◆You can do it! 【発表後の活動】 グループごとで考えたオリジナル時間割について自由にやりとりする。</p>	<p>◆You can do it!</p> <p>■時間割を考えてみて、これからもっと勉強してみたいという気持ちになっている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
8			

Review	世界の友達 1	題材	好きな教科, 好きなもの
		教科書ページ	p.50-p.51
単元目標 【Goal】	世界の小学生についての理解を深める。(異文化理解) オーストラリア, フランス	配当時間	1 時間
		学習時期	7 月中旬
言語材料	表現 My name is (Unit 1) I like (Unit 1) My birthday is (Unit 2) What subjects do you like? I like ... and (Unit 3)		
	語彙 人やものを説明する (favorite), 活動 (cook), 国 (Australia, France), anime, character, drama, much, my, this, very		
コミュニケーション に役立つフレーズ	動画に登場する機能表現 (ア)挨拶をする Hello. / Hi. (ウ)説明する My birthday is January 11th. (エ)意見を言う My favorite subject is Japanese. / I like P.E. and drama, too. / I like Japanese anime very much. (オ)質問する What subjects do you like? / What character do you like?		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	・ 名前や誕生日, 好きなものや好きな教科などについて聞いて理解することができる。	○				
思考・判断・ 表現	・ 映像を見て, 世界の小学生の好きな教科や好きなものなどについて考えている。					
主体的に学習に 取り組む態度	・ 世界の人々や, 世界の国々の文化に対して関心を持ち, 理解を深めようとしている。					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
1	p.50 -p.51	<p><目標>世界の小学生の映像から, Unit 1 - 3 で学んだ表現を振り返るとともに, 世界の人々や文化に対して関心と理解を深める。</p> <p>◆オーストラリアの小学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベラさんが名前や誕生日を言って自己紹介したり, 好きな教科について話したりする映像を見る。ベラさんは何の教科が好きなのか考えたり, 他にも話を聞いて理解できたことがあれば話し合ったりする。 ・教科書 p.50 の写真から, ベラさんの好きなスポーツや大切にしているもの, 得意なこと, 学校で使う教科書などを知る。日本と違うところ, 似ているところなど, 気づいたことを考える。 <p>◆フランスの小学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーシャさんが名前や誕生日を言って自己紹介したり, 好きなものについて話したりする映像を見る。サーシャさんは何が好きなのか考えたり, 他にも話を聞いて理解できたことがあれば話し合ったりする。 ・教科書 p.51 の写真から, サーシャさんの通学際の服装や持ち物, 通学手段, 仲のよい友達などを知る。日本と違うところ, 似ているところなど気づいたことを考える。 <p>◆オーストラリア / フランス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に載っている国の説明を読んで, ベラさんの住むオーストラリアや, サーシャさんの住むフランスについて理解を深める。人口を日本と比較したり, 主な言語を確認したり, 写真から気づくことを話し合ったりする。 ・Unit 1 - 3 で学習した表現が中心なので, 音声を聞きながら文字を指で追う活動を取り入れてもよい。 	<p>■名前や誕生日, 好きなものや好きな教科などについて聞いて理解することができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■映像を見て, ベラさんの好きな教科やサーシャさんの好きなものは何か考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■世界の人々や, 世界の国々の文化に対して関心を持ち, 理解を深めようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>

Unit 4	What time do you get up?	題材	1日の生活・お手伝い
		教科書ページ	p.52-p.61 Fun Time 含
単元目標 【Goal】	家の手伝いや1日の生活についてたずね合うことができる。	配当時間	8時間
		学習時期	9月上旬～9月下旬
言語材料	表現 【Step 1】 Do you take out the garbage? Yes, I do. / No, I don't. I usually [always / sometimes / never] wash the dishes. 【Step 2】 What time do you go to bed? I usually go to bed at 11:00. 語彙 日課(clean my room, clean the bath, clear the table, cook dinner, do my homework, eat dinner [lunch], get the newspaper, get up, go to bed, set the table, take a bath, take out the garbage, walk the dog, wash the dishes ※a, clean, cook, do, dog, lunch, my は既習語), いつもする, まったくしない(always, usually, sometimes, never), 気持ち(angry, thirsty), at, breakfast, early, great, market		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア)「間をつなぐ」Let's see. (イ)謝る Sorry. 一言フレーズ (ア)繰り返す (I usually go to bed at eleven.) Eleven? Response 【Step 1】 Great. 【Step 2】 That's early.		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 家でする手伝いやその頻度, また1日の生活について聞いて理解したり, たずね合ったり, 伝えたり, 書いたりすることができる。 休日の過ごし方についての音声を聞いて, 文字を指でさすことができる。 友達と休日の過ごし方をたずね合うことができる。 	○	○	○		○
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と, 家での手伝いや1日の生活についてたずね合う。 世界の小学生が1日の生活を紹介する映像を見て, 気がついたことについて考えている。 		○	○		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 友達の1日の生活の様子から分かったことを, 自分の生活に生かそうとしている。 粘り強く学習に取り組んでいる。また, ふりかえりシートなどを利用して自ら学習を調整しようとしている。 					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Hop!】 手伝いや1日の生活の言い方を知る。			
1	p.52 -p.53	<目標> アニメーション映像を通じて, 本単元のトピックや語彙に触れる。 ○英語の歌【This Is the Way】(p.60) ◆Story【(場面)友達の家にて1日の生活に関する会話】 アニメーション映像を使って, 単元のトピックを導入する。 ◆Let's play.【ジェスチャーゲーム】(教師と児童) 手伝いや1日の生活についての語彙を使って, ジェスチャーゲームを行う。	◆Let's play. ■ 手伝いや1日の生活を表すジェスチャーを見て, 当てはまる表現を言うことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)
【Step 1】 どのくらい手伝いをしているか伝える。			
2	p.54 -p.55	<目標> どのくらい手伝いをしているかの言い方を知る。 ○英語の歌【This Is the Way】(p.60) ◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って, Step 1 の表現を確認する。 ◆Let's listen.【家でする手伝い】 家でする手伝いについての会話から, どのくらいの頻度であるかを聞き取る。 ◆Let's chant.【I always do my homework.】 チャンツを使って, Step 1 の表現に慣れる。 ◆Let's play.【先生がする家事の頻度を当てる】(教師と児童) 家事をする頻度についてたずねるゲームを行う。 ○脚注 a, b の音と文字	◆Let's listen. / ◆Let's play. ■ 家でする手伝いについて, 何をどのくらいするのかを聞いて理解したり, 伝えたりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Step 1】どのくらい手伝いをしているか伝える。			
3	p.54 -p.55	<p><目標>どのくらい手伝いをしているかを伝える。</p> <p>◆Let's chant. 【I always do my homework.】 第2時のチャンツを再度歌い、Step 1 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【家事をする頻度を当てる】 第2時で扱った活動を児童同士で行う。</p> <p>◆Let's try. 【家でする手伝いについて答える】 自分が家でする手伝いの頻度について児童同士でやりとりをする。</p> <p>◆Let's write. 【普段家でしていることを1つ書く】 ○脚注 a, b の音と文字</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■I usually [always] ...などの表現を使って、家でする手伝いの頻度を伝えていく。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、家でする手伝いについて伝えようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■普段家でしていることを1つ書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Step 2】1日の生活でいつ何をするかをたずね合う。			
4	p.56 -p.57	<p><目標>いつ何をするかをたずねたり答えたりする言い方を知る。</p> <p>◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 2 の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen. 【1日の生活】 すし職人の1日についての会話を聞き、時刻を聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【What time do you get up?】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。</p> <p>◆Let's play. 【Me, too. チェーン】 グループで起床時間などをたずね合うゲームを行う。 ○脚注 c, d の音と文字</p>	<p>◆Let's listen. / ◆Let's play.</p> <p>■1日の生活でいつ何をするかを聞いて理解したり、たずね合ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
5	p.56 -p.57	<p><目標>1日の生活でいつ何をするかをたずね合う。</p> <p>◆Let's chant. 【What time do you get up?】 第4時のチャンツを再度歌い、Step 2 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【Me, too. チェーン】 第4時で扱った活動を形式を変えて行う。</p> <p>◆Let's try. 【放課後の生活をたずね合う】 放課後に自分がしていることと、時刻についてたずね合う。</p> <p>◆Let's write. 【普段することとその時刻を1つ書く】 ○脚注 c, d の音と文字</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■What time do you...? I usually... at...の表現を使って、放課後の生活について友達とたずね合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、放課後の生活についてたずねたり答えたりしようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■普段することとその時刻を書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Jump!】休日の過ごし方についてたずね合う。			
6	p.58 -p.59	<p><目標>世界の小学生の1日の過ごし方を知る。自分の休日の過ごし方を振り返る。</p> <p>◆World Tour 映像を見て、世界の小学生の1日の生活について考えを深める。</p> <p>◆Let's chant. 【I always do my homework.】 【What time do you get up?】(p.54, p.56) Step 1 と Step 2 のチャンツを再度声に出す。</p> <p>◆Let's listen and read. 【休日の過ごし方】 音声で慣れ親しんだ語句や表現を文字で確認する。</p> <p>◆You can do it! 【自分の休日の過ごし方】 友達とのやりとりに向けて、自分の休日の過ごし方について考える。</p>	<p>◆World Tour</p> <p>■映像を見て内容を理解し、日本と似ている点や違う点について考えていく。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's listen and read.</p> <p>■休日の過ごし方について音声を聞いて、単語(語句)を指でさすことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
7	p.58 -p.61	<p><目標>休日の過ごし方についてたずね合う。</p> <p>◆You can do it! 【インタビューの準備】 手伝いや1日の過ごし方について、伝え方を考える。</p> <p>◆You can do it! 【インタビューをする】 休日の起床と就寝時間や、している手伝いをたずね合う。</p> <p>○Fun Time 1 文字遊び 【アルファベット線つなぎ】 聞こえてきたアルファベットを線で結ぶ。</p>	<p>◆You can do it!</p> <p>■学習した表現を使って、休日の過ごし方をたずね合っている。《知識・技能》《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■友達の1日の生活の様子から分かったことを、自分の生活に生かそうとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
8		<p><目標>気持ちを表す表現に触れる。</p> <p>○Fun Time 1 文字遊び 【アルファベット線つなぎ】 聞こえてきたアルファベットを線で結ぶ。(復習)</p> <p>○Fun Time 1 やってみよう 【Are you happy?】 写真の人や動物の気持ちを考えて、当てる活動をする。</p>	<p>◆Fun Time 1 やってみよう</p> <p>■写真を見て、気持ちを予想したり、答えを考えたりしている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>

Unit 5	He can run fast. She can do kendama.	題材	できること, できないこと
		教科書ページ	p.62-p.71 Fun Time 含
単元目標 【Goal】	自分や他の人ができることやできないことを紹介することができる。	配当時間	6時間
		学習時期	10月上旬～10月中旬
言語材料	【表現】【Step 1】 Can you...? Yes, I can. / No, I can't. 【Step 2】 He [She] can / can't....		
	【語彙】 私, あなた (he, she), 活動 (draw, play, ride, run, sing, swim, took), スポーツ (badminton, baseball, dodgeball, table tennis), 身の回りのもの (bicycle, guitar, jar, piano, picture, recorder, rope, unicycle), 人や物を説明する (cool), 職業 (teacher), 食べ物 (cookie), can, fast, from, high, not, then, well, who		
コミュニケーション に役立つフレーズ	【アニメーションに登場する機能表現】		
	(イ)褒める That's great. Great! Very nice. (ウ)報告する She [He] can do kendama very well.		
	(オ)依頼する Let's join them. (オ)質問する A: Can you play volleyball? (B: Yes, I can.)		
	【一言フレーズ】 (オ)依頼する, 命令する Let's join them.		
	【Response】【Step 1】 That's great. 【Step 2】 Cool.		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	・ できることやできないことを聞いて理解したり, できるかどうかたずね合ったり, 伝えたり, 書いたりすることができる。	○	○	○		○
	・ できることについての音声を聞いて, 文字を指で追うことができる。				○	
思考・判断・表現	・ 学校の先生にインタビューをして, 先生のできることやできないことを紹介することができる。		○	○		
	・ 自分や他の人ができることやできないことを紹介する。		○	○		
主体的に学習に取り組む態度	・ 世界の小学生ができることを紹介する映像を見て, 気がついたことについて考えている。					
	・ 友達ができることやできないことを聞いて, 返す言葉を工夫しようとしている。					
	・ 粘り強く学習に取り組んでいる。また, ふりかえりシートなどを利用して自ら学習を調整しようとしている。					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Hop!】 スポーツや動作などの言い方を知る。			
1	p.62 -p.63	<p><目標>アニメーション映像を通じて, 本単元のトピックや語彙に触れる。</p> <p>○英語の歌【I Love the Mountains】(p.70)</p> <p>◆Story【(場面)友達や先生のできること】 アニメーション映像を使って, 単元のトピックを導入する。</p> <p>◆Let's play.【ジェスチャーゲーム】(教師と児童) スポーツや動作を表す語彙を使い, ジェスチャーゲームを行う。</p>	<p>◆Let's play.</p> <p>■スポーツや動作を表すジェスチャーを見て, 当てはまる表現を言うことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Step 1】 できるかどうかをたずね合う。			
2	p.64 -p.65	<p><目標>できるかどうかをたずね合う言い方を知る。</p> <p>○英語の歌【I Love the Mountains】(p.70)</p> <p>◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って, Step 1 の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen.【できること, できないこと】 スポーツや動作などの会話から, できること, できないことを聞き取る。</p> <p>◆Let's chant.【Can you ride a bicycle?】 チャンツを使って, Step 1 の表現に慣れる。</p> <p>◆Let's play.【先生ができることとできないことを当てる】(教師と児童) Can you...? の表現を使い, 先生にできるかどうかをたずねる。</p> <p>○脚注 e, f の音と文字</p>	<p>◆Let's listen. / ◆Let's play.</p> <p>■できることやできないことを聞いて理解したり, たずね合ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Step 1】 できるかどうかをたずね合う。			
3	p.64 -p.65	<p><目標> できるかどうかをたずね合う</p> <p>◆Let's chant. 【Can you ride a bicycle?】 第2時のチャンツを再度歌い、Step 1 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【できることとできないことを当てる】 第2時で扱った活動を児童同士で行う。</p> <p>◆Let's try. 【友達ができることを当てる】 友達ができること、できないことを予想して、実際にできるかどうかたずね合う。</p> <p>◆Let's write. 【自分ができることを書く】 ○脚注 e, f の音と文字</p>	<p>◆Let's try. ■Can you ...? Yes, I can. / No, I can't.の表現を使って、友達とできるかどうかをたずね合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、できるかどうかをたずねたり答えたりしようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write. ■自分ができることを1つ書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Step 2】 友達ができることやできないことを伝える。			
4	p.66 -p.67	<p><目標> 友達ができることやできないことを伝える言い方を知る。</p> <p>◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 2 の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen. 【先生ができること】 先生紹介の会話から先生ができることを聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【He can play baseball.】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。</p> <p>◆Let's play. 【人物当てクイズ】 教師が説明する人物が誰かを当てる。</p> <p>○脚注 g, h の音と文字</p>	<p>◆Let's listen. / ◆Let's play. ■先生や友達ができることやできないことを伝える言い方について聞いて理解したり、伝えたりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
5		<p><目標> 友達ができることやできないことを伝える。</p> <p>◆Let's chant. 【He can play baseball.】 第4時のチャンツを再度歌い、Step 2 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【人物当てクイズ】 第4時で扱った活動を児童同士で行う。</p> <p>◆Let's try. 【友達当てクイズ】 友達のできることやできないことを伝え合う。</p> <p>◆Let's write. 【友達ができることを1つ書く】 ○脚注 g, h の音と文字</p>	<p>◆Let's try. ■He [She] can / can'tの表現を使って、友達ができることやできないことを伝えて人物当てクイズをしている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、友達ができることやできないことを伝えようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write. ■友達ができることを1つ書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Jump!】 先生ができることやできないことを紹介する。			
6	p.68 -p.71	<p><目標> 先生ができることやできないことを紹介する。</p> <p>◆World Tour 映像を見て、世界の小学生ができることについて考えを深める。</p> <p>◆Let's chant. 【Can you ride a bicycle?】 【He can play baseball.】 (p.64, p.66) Step 1 と Step 2 のチャンツを再度声に出す。</p> <p>◆Let's listen and read. 音声で慣れ親しんだ語句や表現を文字で確認する。</p> <p>◆You can do it! 【先生紹介】 前時(第5時)終了時、グループごとに1人の先生にインタビューすることを宿題で出してもよい。先生にインタビューし、先生のできることやできないことをクラスで発表する。</p> <p>○Fun Time 2 文字遊び 【ラッキーアルファベット】 「ラッキーアルファベット」を予想して、アルファベットカードを集める。</p>	<p>◆World Tour ■映像を見て内容を理解し、気がついたことについて考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's listen and read. ■できることについての音声を聞いて、文字を指で追うことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆You can do it! ■学校の先生にインタビューをして、先生のできることやできないことを紹介している。《知識・技能》《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■できることやできないことを聞いて、返す言葉を工夫しようとしている。《態度》(行動観察・発表観察・ふりかえりシートの点検)</p>

※ 第6時にて Fun Time 2 やってみよう Who Took the Cookies from the Cookie Jar? の活動(英語のリズムを楽しむ)を行ってもよい。

Unit 6	I want to go to Italy.	題材	行ってみたい国や地域
		教科書ページ	p.72-p.81 Fun Time 含
単元目標 【Goal】	行きたい国やそこでできることを紹介することができる。	配当時間	8時間
		学習時期	10月下旬～11月中旬
言語材料	表現 【Step 1】 In ..., you can see [visit / eat / drink / buy] 【Step 2】 Where do you want to go? I want to go to.... Why? I want to.... 語彙 国など(Brazil, Canada, China, Egypt, Germany, India, Italy, Japan, Korea, Peru, Rome, Thailand, the U.K., the U.S.), 活動(buy, drink, visit), 食べ物(curry), sorry, where, why		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (イ)褒める It's cool. Nice. (エ)申し出る, 承諾する May I ask you a question? Yes, of course. 一言フレーズ (エ)申し出る, 承諾する May I ask you a question? Yes, of course. Response 【Step 1】 Sorry? 【Step 2】 Why?		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国でできること, 行きたい国と理由について, 聞いて理解したり, たずね合ったり, 伝えたりすることができる。 行きたい国についての音声を聞いて, 文字を指で追うことができる。 行きたい国のポスターを作り, その国の魅力を紹介することができる。 	○	○	○		
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい国やそこでできることを紹介する。 世界の国々の紹介の映像を見て, 気がついたことについて考えている。 		○	○		○
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 友達が紹介した国について, もっと知りたいと思っている。 粘り強く学習に取り組んでいる。また, ふりかえりシートなどを利用して自ら学習を調整しようとしている。 					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Hop!】世界の国々の言い方を知る。			
1	p.72 -p.73	<目標> アニメーション映像を通じて, 本単元のトピックや語彙に触れる。 ○英語の歌【It's a Small World】(p.80) ◆Story【(場面)行ってみたい国に関する会話】 アニメーション映像を使って, 単元のトピックを導入する。 ◆Let's play.【ポインティングゲーム】 国名を使って, ポインティングゲームを行う。	◆Let's play. ■ 行きたい国を聞いて, 正しい写真を選ぶことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)
【Step 1】世界の国でできることを伝える。			
2	p.74 -p.75	<目標> 世界の国でできることを伝える言い方を知る。 ○英語の歌【It's a Small World】(p.80) ◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って, Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen.【観光案内】 いろいろな国の観光案内を聞き, 紹介しているものを選ぶ。 ◆Let's chant.【You can visit Rome.】 チャンツを使って, Step 1の表現に慣れる。 ◆Let's play.【国旗カードのかるた取り】 カードを使用し, かるた取りの要領でゲームを行う。 ○脚注 i, j の音と文字	◆Let's listen. / ◆Let's play. ■ 世界の国でできることを聞いて理解したり, 国名と国旗を一致させたりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Step 1】世界の国でできることを伝える。			
3	p.74 -p.75	<p><目標>世界の国でできることを伝える。</p> <p>◆Let's chant. 【You can visit Rome.】 第2時のチャンツを再度歌い、Step 1 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【国旗カードのかかるた取り】 第2時で扱った活動を再度行う。(復習)</p> <p>◆Let's try. 【国当てクイズ】世界の国についてクイズを出し合う。</p> <p>◆Let's write. 【紹介した国でできることについてかく】</p> <p>○脚注 i, j の音と文字</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■In ..., you can see...などの表現を使い、クイズを出し合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、世界の国でできることを伝えようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■自分が選んだ国でできることを絵なども使って紹介することができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Step 2】行きたい国とその理由をたずね合う。			
4	p.76 -p.77	<p><目標>行きたい国とその理由をたずねたり答えたりする言い方を知る。</p> <p>◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 2 の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen. 【行きたい国とその理由】 行きたい国とその理由を聞いて、正しい写真を選ぶ。</p> <p>◆Let's chant. 【Where do you want to go?】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。</p> <p>◆Let's play. 【行きたい国とその理由をたずね合う】 行きたい国をたずね合う。</p> <p>○脚注 k, l の音と文字</p>	<p>◆Let's listen. / ◆Let's play.</p> <p>■行きたい国とその理由について聞いて理解したり、たずね合ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
5		<p><目標>行きたい国とその理由をたずね合う。</p> <p>◆Let's chant. 【Where do you want to go?】 第4時のチャンツを再度歌い、Step 2 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【行きたい国とその理由】 第4時で扱った活動を形式を変えて行う。</p> <p>◆Let's try. 【行きたい国インタビュー】 自分と同じ国に行きたい人を探す。</p> <p>◆Let's write. 【自分の行きたい国を書く】</p> <p>○脚注 k, l の音と文字</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■Where do you want to go? I want to go Why? I want toの表現を使い、行きたい国とその理由をたずね合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、行きたい国とその理由をたずねたり答えたりしようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■自分が行きたい国を書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Jump!】ポスターを使って行きたい国を紹介する。			
6	p.78 -p.79	<p><目標>世界の国々について知る。行きたい国の魅力を考える。</p> <p>◆World Tour 映像を見て、行きたい国について考えを深める。</p> <p>◆Let's chant. 【You can visit Rome.】 【Where do you want to go?】 (p.74, p.76) Step 1 と Step 2 のチャンツを再度声に出す。</p> <p>◆Let's listen and read. 【行きたい国】 音声で慣れ親しんだ語句や表現を文字で確認する。</p> <p>◆You can do it! 【行きたい国のポスター】 班になり、行きたい国のポスターをつくる。</p>	<p>◆World Tour</p> <p>■映像を見て内容を理解し、気がついたことについて考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's listen and read.</p> <p>■行きたい国についての音声を聞いて、文字を指で追うことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
7	p.78 -p.81	<p><目標>ポスターを使って行きたい国を紹介する。</p> <p>◆You can do it! 【行きたい国の発表準備】 行きたい国について、紹介の仕方を考え、発表の練習をする。</p> <p>◆You can do it! 【行きたい国の発表】 行きたい国についてのポスターを使って、その国の魅力を紹介する。</p> <p>○Fun Time 3 文字遊び 【Go fish! ゲーム】 先生が発表したアルファベット4文字を書く。</p>	<p>◆You can do it! ★パフォーマンス評価</p> <p>■ポスターを作り、その国の魅力を紹介している。《知識・技能》《思考・判断・表現》(発表・成果物評価)</p> <p>■聞き手に配慮して、行きたい国の魅力を紹介しようとしている。《態度》(発表評価)</p>
8		<p><目標>友達が紹介した国について知る。</p> <p>◆You can do it! 【発表後の活動】 第7時の発表で使ったポスターを読み合い、行きたい国とその理由を言う。</p> <p>○Fun Time 3 学びをつなげよう 【What is this kanji?】 漢字を見て、当てはまる国旗のシールを貼る。</p> <p>○Fun Time 3 文字遊び 【Go fish! ゲーム】(復習) 先生が発表したアルファベット4文字を書く。</p>	<p>◆You can do it!</p> <p>■友達が紹介した国について、もっと知りたいと思っている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>

Unit 7	What would you like?	題材	料理・値段
		教科書ページ	p.82-p.91 Fun Time 含
単元目標 【Goal】	料理を注文したり、値段をたずねたりする受け答えができる。	配当時間	6時間
		学習時期	11月下旬～12月中旬
言語材料	表現 【Step 1】 What would you like? I'd like 【Step 2】 How much is it? It's ... yen. 語彙 食べ物 (bread, cake, corn soup, curry and rice, dessert, French fries, fried chicken, grilled fish, hamburger, ice cream, miso soup, noodle, omelet, parfait, pizza, pudding, rice, rice ball, salad, sandwich, spaghetti, steak, yogurt), 飲み物 (coffee, green tea, juice, soda pop), 果物と野菜 (orange), 国 (Indonesia, Spain, Vietnam), 色と形 (black, blue, brown, circle, cross, diamond, green, heart, purple, rectangle, shape, square, star, triangle, white, yellow), 活動 (design), bingo, dollar, here, I'd, let's, with, would		
コミュニケーションに役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (エ)申し出る, 承諾する May I help you? Yes, please. (ウ)報告する It's for mom and dad. 一言フレーズ (エ)申し出る May I help you? Response 【Step 1】 Here you are. 【Step 2】 Well...		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ ていねいな言い方で料理を注文し合ったり、値段をたずねたり伝えたり、書いたりすることができる。 ・ レストランのメニューについての音声を聞いて、文字を指でさすことができる。 ・ 客と店員役に分かれて、値段をたずねながら昼食を注文するやりとりができる。 	○	○			○
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料理を注文したり、値段をたずねたりする受け答えをする。 ・ 世界の料理が味わえるお祭りの映像を見て、気がついたことについて考えている。 		○		○	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注文する料理を考えたり、受け答えをしたりするときの表現を工夫しようとしている。 ・ 粘り強く学習に取り組んでいる。また、ふりかえりシートなどを利用して自ら学習を調整しようとしている。 					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Hop!】食べ物や飲み物、値段の言い方を知る。			
1	p.82 -p.83	<目標> アニメーション映像を通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ○英語の歌【Pease Porridge Hot】(p.90) ◆Story【(場面)ファーストフード店での会話】 アニメーション映像を使って、単元のトピックを導入する。 ◆Let's play.【ポインティングゲーム】 食べ物や飲み物の語彙を使って、ポインティングゲームを行う。	◆Let's play. ■食べ物や飲み物の名前を聞いて、正しい絵をさすことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの分析)
【Step 1】ていねいな言い方で料理を注文する。			
2	p.84 -p.85	<目標> ていねいに料理を注文する言い方を知る。 ○英語の歌【Pease Porridge Hot】(p.90) ◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen.【昼食の注文】 昼食を注文する会話から頼んだ食べ物を聞き取る。 ◆Let's chant.【What would you like?】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Let's play.【先生や友達の注文を聞いて、順番どおりにカードを並べる】 What would you like? と I'd like.... の表現を使用し、活動を行う。 ○脚注 m, n の音と文字	◆Let's listen. / ◆Let's play. ■注文したものを聞いて理解したり、ていねいに料理を注文したりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Step 1】 ていねいな言い方で料理を注文する。			
3	p.84 -p.85	<p><目標>ていねいな言い方で料理を注文する。</p> <p>◆Let's chant. 【What would you like?】 第2時のチャンツを再度歌い、Step 1 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【注文を聞いて、順番通りにカードを並べる】 第2時で扱った活動を再度行う。(復習)</p> <p>◆Let's try. 【バランスのよい献立となるように、料理を注文する】 巻末カードを使って、料理を注文し合う。</p> <p>◆Let's write. 【自分がいちばん食べたいものを書く】 ○脚注 m, n の音と文字</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■What would you like? I'd like ...の表現を使って、友達と料理を注文し合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■バランスのよい献立となるよう考えながら、学習した表現を使って、料理を注文しようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■自分がいちばん食べたいものを書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Step 2】 ものの値段をたずね合う。			
4	p.86 -p.87	<p><目標>ものの値段をたずねたり答えたりする言い方を知る。</p> <p>◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 2 の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen. 【メニューの注文】 注文の場面から、食べ物の値段を聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【How much is it?】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。</p> <p>◆Let's play. 【世界のものの値段】 先生が示すものの、世界各国での値段を当てる。 ○脚注 o, p の音と文字</p>	<p>◆Let's listen. / ◆Let's play.</p> <p>■食べ物の値段を聞いて理解したり、ものの値段を言ったりたずねたりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
5		<p><目標>ものの値段をたずね合う。</p> <p>◆Let's chant. 【How much is it?】 第4時のチャンツを再度歌い、Step 2 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【世界のものの値段】 第4時で扱った活動を品物を変えて行う。</p> <p>◆Let's try. 【友達が示すものの値段を当てる】 学習した表現を使い、友達が示すものの値段を当てる。</p> <p>◆Let's write. 【ものの値段をたずねる文を書く】 ○脚注 o, p の音と文字</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■How much is it? It's ... yen.の表現を使って、友達の示すものの値段を当てる。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、友達が示すものの値段を当てようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■ものの値段をたずねる文を書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Jump!】 レストランで、値段を確かめて注文する。			
6	p.88 -p.91	<p><目標>レストランで、値段を確かめて注文する。</p> <p>◆World Tour 映像を見て、世界各国の料理について考えを深める。</p> <p>◆Let's chant. 【What would you like?】 【How much is it?】(p.84, p.86) Step 1 と Step 2 のチャンツを再度声に出す。</p> <p>◆Let's listen and read. 【レストランのメニュー】 音声で慣れ親しんだ語句や表現を文字で確認する。</p> <p>◆You can do it! 【昼食の注文】 グループで客と店員役に分かれ、昼食を注文するやりとりをする。</p> <p>○Fun Time 4 文字遊び 【アルファベットビンゴ】 アルファベットを使ったビンゴを行う。</p>	<p>◆World Tour</p> <p>■映像を見て内容を理解し、日本の料理と似ているところ、ちがうところについて考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's listen and read.</p> <p>■レストランのメニューについての音声を聞いて、文字を指でさすことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆You can do it!</p> <p>■客と店員役に分かれて、値段をたずねながら昼食を注文している。《知識・技能》《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■注文する料理を考えたり、受け答えをしたりするときの表現を工夫しようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>

※ 第6時にて Fun Time 4 やってみよう Let's design with shapes and colors! の活動(形と色をあらゆる語彙をもとに絵をかき、誰の作品かを当てる)を行ってもよい。

言葉	言葉について考えよう 伝わる表現を選ぼう	題材	(言葉)
		教科書ページ	p.92-p.93
単元目標	意図を伝えるていねいな言い方をする。	配当時間	1時間
【Goal】	「心をつなぐ言葉」を大切にする。	学習時期	12月中旬
言語材料	表現 これまでの既習表現 語彙 食べ物(hot dog), 1日(morning), no		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	・ 友達からの誘いを断る会話から、どのように意図を伝えているか聞いて理解できる。	○				
思考・判断・表現	・ 相手とのよい関係をつくる言葉や言い方について考えている。					
主体的に学習に取り組む態度	・ 相手とのよりよい関係をつくるための言葉や言い方を工夫しようとしている。					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
1	p.92	<目標>意図を伝える丁寧な言い方をする。 ・ 友達の誘いを断る場面で、誘ったほうの気持ちを想像しながら、意図を伝える表現について考える。 ◆Let's listen. 1 ・ 友達の誘いを断る場面の会話を聞いて、断る側が何と言って意図を伝えているかを理解する。	■友達からの誘いを断る会話を聞いて、どのように意図を伝えているか理解できる。また、場面と言葉を適切に結び付け、聞いて確かめることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検) ■相手とのよい関係をつくる言葉や言い方について考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検) ■相手とのよりよい関係をつくるための言葉や言い方を工夫しようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)
	-p.93	「心をつなぐ言葉」を大切にする。 ・ 日本語で、場面に応じた相手とのよい関係をつくる言葉を考える。 ◆Let's listen. 2 ・ “Thank you.” などの4つの言葉が、どの場面で使われるかを予想し、聞いて確かめる。 ◆Tips【相手に応じた言葉】 ・ 伝える相手に応じて、どのように言葉が変わるかを考える。	

Review	世界の友達 2	題材	1日の生活, 行きたい国
		教科書ページ	p.94-p.95
単元目標 【Goal】	世界の小学生についての理解を深める。(異文化理解) フィリピン, パラグアイ	配当時間	1時間
		学習時期	12月中旬
言語材料	表現 What time do you get up? I usually get up at (Unit 4) Where do you want to go? I want to go to.... I want to.... (Unit 6) 語彙 人(family, friend, parent), 位置(in), 身の回りのもの(robot), 生き物など(turtle), 学校, 教室(school), 活動(bring, help), 国(Paraguay, Russia, the Philippines), snow, some, there, water		
コミュニケーション に役立つフレーズ	動画に登場する機能表現 (ウ)説明する I usually get up at five. (エ)意見を言う I want to go to Russia. (オ)質問する What time do you get up?		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	・1日の生活や家でする手伝い, 好きなもの, 行きたい国とその理由を聞いて理解することができる。	○				
思考・判断・ 表現	・映像を見て, 世界の小学生の1日の生活や家でする手伝い, 好きなもの, 行きたい国とその理由について考えている。					
主体的に学習に 取り組む態度	・世界の人々や, 世界の国々の文化に対して関心を持ち, 理解を深めようとしている。					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
1	p.94 -p.95	<p><目標>世界の小学生の映像から, Unit 4-7で学んだ表現を振り返るとともに, 世界の人々や文化に対して関心と理解を深める。</p> <p>◆フィリピンの小学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アビーさんが1日の生活や家でする手伝いについて話す映像を見る。アビーさんがいつも何時に起きているのか, どんな手伝いをするのか考えたり, 他にも話を聞いて理解できたことがあれば話し合ったりする。 ・教科書 p.94 の写真から, アビーさんがしている家事, 家族や友達, 使っている教科書などを知る。日本と違うところ, 似ているところなど, 気づいたことを考える。 <p>◆パラグアイの小学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クキさんが好きなことや, 行きたい国とその理由を話す映像を見る。クキさんは何が好きなのか, どの国に行ってどんなことをしたいのか考えたり, 他にも話を聞いて理解できたことがあれば話し合ったりする。 ・教科書 p.95 の写真から, クキさんの家族やペット, 好きな教科などを知る。日本と違うところ, 似ているところなど気づいたことを考える。 <p>◆フィリピン / パラグアイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に載っている国の説明を読んで, アビーさんの住むフィリピンや, クキさんの住むパラグアイについて理解を深める。人口を日本と比較したり, 首都の位置や主な言語を確認したりする。また, 写真や国旗のデザインから気づくことを話し合ったりする。 ・Unit 4-7で学習した表現が中心なので, 音声を聞きながら文字を指で追う活動を取り入れてもよい。 	<p>■1日の生活や家でする手伝い, 好きなもの, 行きたい国とその理由を聞いて, 理解することができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■映像を見て, アビーさんの1日の生活と家でする手伝いについて考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■映像を見て, クキさんの好きなことや行きたい国とその理由を考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■世界の人々や, 世界の国々の文化に対して関心を持ち, 理解を深めようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>

Unit 8	Where is the gym?	題材	位置と場所
		教科書ページ	p.96-p.105 Fun Time 含
単元目標 【Goal】	場所をたずねたり、道案内をししたりする受け答えができる。	配当時間	8時間
		学習時期	1月中旬～2月上旬
言語材料	表現 【Step 1】 Where is...? It's on [in / under / by] 【Step 2】 Where is...? Go straight for ... block(s). Turn right [left]. 語彙 位置 (by, under), 町 (bookstore, bus stop, convenience store, department store, fire station, flower shop, gas station, gym, hospital, library, park, police station, post office, restaurant, station, supermarket, temple), 方向 (corner, left, right, straight), 活動 (turn), 身の回りのもの (ball, clock, desk), first, welcome, you're		
	コミュニケーションに役立つフレーズ アニメーションに登場する機能表現 (ア)呼び掛ける Excuse me. (ア)聞き直す Pardon? (イ)礼を言う Thank you. (ウ)説明する It's on the bench. 一言フレーズ (ア)呼び掛ける Excuse me. Response 【Step 2】 You're welcome.		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ものがある場所を聞いて位置を理解したり、道案内をししたり、場所について書いたりすることができる。 道案内についての音声聞いて、文字を指で追うことができる。 グループで自分たちの町を考え、道案内をすることができる。 	○	○			○
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 場所をたずねたり、道案内をししたりする。 世界の町のユニバーサルデザインの映像を見て、気がついたことについて考えている。 		○			
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 道案内をするときの表現を工夫しようとしている。 粘り強く学習に取り組んでいる。また、ふりかえりシートなどを利用して自ら学習を調整しようとしている。 					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Hop!】 店や施設、道案内の言い方を知る。			
1	p.96 -p.97	<目標> アニメーション映像を通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ○英語の歌【On Top of Spaghetti】(p.104) ◆Story【(場面)道案内】 アニメーション映像を使って、単元のトピックを導入する。 ◆Let's play.【ミッシングゲーム】 施設や建物を表す語句を使って、ゲームを行う。	◆Let's play. ■店や施設を表す語句を正しく選ぶことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)
【Step 1】ものがどこにあるかをたずね合う。			
2	p.98 -p.99	<目標> ものがどこにあるかをたずねたり答えたりする言い方を知る。 ○英語の歌【On Top of Spaghetti】(p.104) ◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen.【探し物】 話を聞いて、何を探しているかを聞き取る。 ◆Let's chant.【Where is my cup?】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Let's play.【どこに何があるか】 教科書にシールを貼って、ものがどこにあるかをたずね合う。 ○脚注 q, r の音と文字	◆Let's listen. / ◆Let's play. ■ものがある場所を聞いて位置を理解したり、たずね合ったりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Step 1】ものがどこにあるかをたずね合う。			
3	p.98 -p.99	<p><目標>ものがどこにあるかをたずね合う。</p> <p>◆Let's chant. 【Where is my cup?】 第2時のチャンツを再度歌い、Step 1 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【どこに何があるか】 第2時で扱った活動を再度行う。(復習)</p> <p>◆Let's try. 【カード探し】 Where is...?とIt's...の表現を使って、隠したカードの場所をたずね合う。</p> <p>◆Let's write. 【ネコがいる場所を書く】 ○脚注 q, r の音と文字</p>	<p>◆Let's try. ■Where is...? It's on [in / under / by] ...の表現を使って、ものがある場所について友達とたずね合っている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、ものがある場所をたずねたり答えたりしようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write. ■ものの場所を表す語句を書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Step 2】道をたずねたり、答えたりする。			
4	p.100 -p.101	<p><目標>道をたずねたり、答えたりする言い方を知る。</p> <p>◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 2 の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen. 【施設の場所】 道をたずねる会話から場所を聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【Where is the station?】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。</p> <p>◆Let's play. 【地図とカードで道案内をする】 教科書 p.101 の地図と巻末カードを使って、道案内を行う。 ○脚注 s, t, u の音と文字</p>	<p>◆Let's listen. / ◆Let's play. ■道案内を聞いて理解したり、道をたずねたり答えたりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
5		<p><目標>道をたずねたり、答えたりする。</p> <p>◆Let's chant. 【Where is the station?】 第4時のチャンツを再度歌い、Step 2 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【地図とカードで道案内をする】 第4時で扱った活動を再度行う。(復習)</p> <p>◆Let's try. 【ゲストと案内役で道案内をする】 目的に応じた道案内をする。</p> <p>◆Let's write. 【自分がたずねた施設を書く】 ○脚注 s, t, u の音と文字</p>	<p>◆Let's try. ■Where is...? Go straight for... block(s)などの表現を使用し、道案内をしている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、ある施設までの道をたずねたり答えたりしようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write. ■道をたずねた施設名を書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Jump!】自分たちが考えた町の道案内をする。			
6	p.102 -p.103	<p><目標>自分たちで町を考える。道案内のできるように準備をする。</p> <p>◆World Tour 映像を見て、町のユニバーサルデザインについて考えを深める。</p> <p>◆Let's chant. 【Where is my cup?】 【Where is the station?】 (p.98, p.100) Step 1 と Step 2 のチャンツを再度声に出す。</p> <p>◆Let's listen and read. 【道案内のメモ】 音声で慣れ親しんだ語句や表現を文字で確認する。</p> <p>◆You can do it! 【道案内の準備】 班になり、自分たちで施設を考える。</p>	<p>◆World Tour ■映像を見て内容を理解し、自分たちの町づくりに生かせそうな点を考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's listen and read. ■道案内についての音声聞いて、文字を指で追うことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
7	p.102 -p.105	<p><目標>自分たちが考えた町の道案内をする。</p> <p>◆You can do it! 【道案内の練習】 施設への案内の仕方を練習する。</p> <p>◆You can do it! 【道案内をする】 ゲスト役と案内役で、道案内を行う。</p> <p>○Fun Time 5 英語の物語 【The Gingerbread Man】 物語の音声聞いて、英語のリズムを楽しむ。</p> <p>○Fun Time 5 文字遊び 【アルファベットカード集め】 教師が言うアルファベットカードを集めて単語を作る。</p>	<p>◆You can do it! ■学習した表現を使用して、グループで自分たちの町を考え、道案内をしている。《知識・技能》《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■道案内をするときの表現を工夫しようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
8		<p><目標>道案内を振り返り、気づいたことを共有する。</p> <p>◆You can do it! 【道案内の後の活動】 クラス全体で、作った地図を見せ合う。</p> <p>○Fun Time 5 英語の物語 【The Gingerbread Man】 物語の音声の後について言う。</p> <p>○Fun Time 5 文字遊び 【アルファベットカード集め】(復習) 教師が言うアルファベットカードを集めて単語を作る。</p>	<p>◆You can do it! ■友達が考えた町について知ろうとしている。《態度》(行動観察・発表観察・ふりかえりシートの点検)</p>

Unit 9	My hero is my brother.	題材	あこがれの人
		教科書ページ	p.106-p.115 Fun Time 含
単元目標 【Goal】	職業や性格などを言って、身近なあこがれの人を紹介することができる。	配当時間	8時間
		学習時期	2月中旬～3月中旬
言語材料	表現 【Step 1】 My hero is.... She [He] is (職業など). 【Step 2】 She [He] is (性格など). 語彙 職業(actor, athlete, comedian, singer), 人や物を説明する(active, beautiful, brave, friendly, kind, smart, tough), 人(brother, hero), 活動(dance, speak), スポーツ(wheelchair basketball), 自然(cactus), an, language, many, wow		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (イ)「驚きを表す」 Really? Wow. (ウ)説明する She is a great teacher. (ウ)発表する He is a wheelchair basketball player. 一言フレーズ (イ)褒める Great. Beautiful.など Response 【Step 1】 Wow. 【Step 2】 That's right!		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 人の職業や性格, できることなどを聞いて理解したり, 伝えたりすることができる。 あこがれの人についての音声を聞いて, 文字を指で追うことができる。 職業や性格を伝えて, あこがれの人を紹介することができる。 	○		○	○	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 職業や性格, できることなどを伝えて, 身近なあこがれの人を紹介する。 世界の小学生があこがれの人を紹介する映像を見て, 気がついたことについて考えている。 			○		○
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> あこがれの人の話から, 身近な人についてもっと知りたいと思っている。 粘り強く学習に取り組んでいる。また, ふりかえりシートなどを利用して自ら学習を調整しようとしている。 					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
【Hop!】 人を紹介するための言い方を知る。			
1	p.106 -p.107	<目標> アニメーション映像を通じて, 本単元のトピックや語彙に触れる。 ○英語の歌【Everyone Is Special】(p.115) ◆Story【(場面)学校からの帰り道】 アニメーション映像を使って, 単元のトピックを導入する。 ◆Let's play.【ミッシングゲーム】 人の性格や職業を表す語句を使って, ゲームを行う。	◆Let's play. ■職業や性格, できることなどを表す語句を正しく選ぶことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)
【Step 1】 人の職業などを伝える。			
2	p.108 -p.109	<目標> 人の職業などを伝える言い方を知る。 ○英語の歌【Everyone Is Special】(p.115) ◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って, Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen.【あこがれの人】 あこがれの人についての会話から, その人の職業名などを選ぶ。 ◆Let's chant.【She is a singer.】 チャンツを使って, Step 1の表現に慣れる。 ◆Let's play.【ピクチャーフラッシュ】 一瞬見せられたカードの内容を当てる。 ○脚注 v, w の音と文字	◆Let's listen. / ◆Let's play. ■人の職業などについて聞いて理解したり, 伝えたりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)

【Step 1】人の職業などを伝える。			
3	p.108 -p.109	<p><目標>人の職業などを伝える。</p> <p>◆Let's chant. 【She is a singer.】 第2時のチャンツを再度歌い、Step 2 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【ピクチャーフラッシュ】 第2時で扱った活動を再度行う。(復習)</p> <p>◆Let's try. 【似顔絵を使ってあこがれの人を紹介する】 5つの職業から1つ選び、あこがれの人の似顔絵をかくて紹介する。</p> <p>◆Let's write. 【自分が紹介した人について書く】 ○脚注 v, w の音と文字</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■My hero is He [She] is (職業など)の表現を使って、ある職業のあこがれの人を紹介している。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、ある職業のあこがれの人を紹介しようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■自分が紹介した人について書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Step 2】人の性格などを伝える。			
4	p.110 -p.111	<p><目標>人の性格などを伝える言い方を知る。</p> <p>◆Let's watch. アニメーション映像の一部を使って、Step 2 の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen. 【ニックたちの家族紹介】 ニックたちが家族を紹介する会話から、性格やできることなどを聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【He is smart.】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。</p> <p>◆Let's play. 【カードマッチング】 人の性格などを説明する表現を使って、カードマッチングを行う。</p> <p>○脚注 x, y, z の音と文字</p>	<p>◆Let's listen. / ◆Let's play.</p> <p>■人の性格などを聞いて理解したり、伝えたりすることができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
5	p.110 -p.111	<p><目標>人の性格などを伝える。</p> <p>◆Let's chant. 【He is smart.】 第4時のチャンツを再度歌い、Step 2 の表現の復習をする。</p> <p>◆Let's play. 【カードマッチング】 第4時で扱った活動を再度行う。(復習)</p> <p>◆Let's try. 【人物当てクイズ】 人の性格・職業・できることなどを説明し、クイズを出し合う。</p> <p>◆Let's write. 【先生について書く】 ○脚注 x, y, z の音と文字</p>	<p>◆Let's try.</p> <p>■She [He] is (性格)などの表現を使い、人物当てクイズをしている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■学習した表現を使って、人の職業や性格などを伝えようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆Let's write.</p> <p>■自分の先生について書くことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
【Jump!】身近なあこがれの人を紹介する。			
6	p.112 -p.113	<p><目標>身近なあこがれの人について、さまざまな角度から考える。</p> <p>◆World Tour 映像を見て、世界の小学生のあこがれの人について考えを深める。</p> <p>◆Let's chant. 【She is a singer.】 【He is smart.】(p.108, p.110) Step 1 と Step 2 のチャンツを再度声に出す。</p> <p>◆Let's listen and read. 【リリーのあこがれの人】 音声で慣れ親しんだ語句や表現を文字で確認する。</p> <p>◆You can do it! 【あこがれの人を発表するための準備】 あこがれの人を1人選び、紹介する内容を考えてワークシートに書き、発表の内容をまとめる。</p>	<p>◆World Tour</p> <p>■映像を見て内容を理解し、気がついたことについて考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>◆You can do it!</p> <p>■あこがれの人についての音声を聞いて、文字を指で追うことができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
7	p.112 -p.115	<p><目標>身近なあこがれの人を紹介する。</p> <p>◆You can do it! 【発表練習】 第6時の練習で出た意見を生かし、発表の練習をする。</p> <p>◆You can do it! 【あこがれの人を紹介する】 似顔絵を見せながら、自分のあこがれの人について紹介する。</p> <p>○Fun Time 6 文字遊び 【暗号ゲーム】 教師が言う数字をアルファベットに置き換え、暗号を解読する。</p>	<p>◆You can do it! ★パフォーマンス評価</p> <p>■学習した表現を使用して、職業や性格を伝えてあこがれの人を紹介している。《知識・技能》《思考・判断・表現》(発表評価)</p> <p>■聞き手に配慮して紹介している。また、友達の話を関心を持って聞き、質問したり感想を言ったりしている。《態度》(発表評価・行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>
8		<p><目標>友達をあこがれの人について読む。</p> <p>◆You can do it! 【発表後の活動】 第7時で作ったワークシートをクラス全体で読み合う。</p> <p>○Fun Time 6 文字遊び 【暗号ゲーム】 教師が言う数字をアルファベットに置き換え、暗号を解読する。</p>	<p>◆You can do it!</p> <p>■あこがれの人の話から、身近な人についてもっと知りたいと思っている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>

Review	世界の友達 3	題材	尊敬する人
		教科書ページ	p.116-p.117
単元目標 【Goal】	世界の小学生についての理解を深める。(異文化理解) 中国, イギリス	配当時間	1 時間
		学習時期	3 月中旬
言語材料	表現 My hero is He [She] is ... (Unit 9) その他 5 年の既習事項 語彙 人 (mother), 活動 (study), everything, voice		
コミュニケーション に役立つフレーズ	動画に登場する機能表現 (ア)挨拶をする Hello. / Hi. (ウ)説明する My hero is my voice teacher. He can sing very well. (エ)意見を言う I like singing.		

		聞く	話す (やりとり)	話す (発表)	読む	書く
知識・技能	・尊敬する人や、その人の職業や性格、できることについて聞いて、理解することができる。	○				
思考・判断・表現	・映像を見て、世界の小学生の尊敬する人について考えている。					
主体的に学習に取り組む態度	・世界の人々や、世界の国々の文化に対して関心を持ち、理解を深めようとしている。					

時	ページ	主な活動内容	■観点別評価(方法)
1	p.116 -p.117	<p><目標>世界の小学生の映像から、5年生でこれまで学んだ表現を振り返るとともに、世界の人々や文化に対して関心と理解を深める。</p> <p>◆中国の小学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ユエンシュオさんが尊敬する人について話す映像を見る。ユエンシュオさんが尊敬する人の職業やできることについて考えたり、他にも話を聞いて理解できたことがあれば話し合ったりする。 教科書 p.116 の写真から、ユエンシュオさんの下校の様子、英語を学んでいる様子、また学校のイベントでしたことについて知る。日本と違うところ、似ているところなど、気づいたことを考える。 <p>◆イギリスの小学生</p> <ul style="list-style-type: none"> アルシさんが尊敬する人について話す映像を見る。アルシさんが尊敬する人の性格やできることについて考えたり、他にも話を聞いて理解できたことがあれば話し合ったりする。 教科書 p.117 の写真から、アルシさんの住む町にあるものや誕生日パーティの様子、好きなことなどを知る。日本と違うところ、似ているところなど気づいたことを考える。 <p>◆中国 / イギリス</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書に載っている国の説明を読んで、ユエンシュオさんの住む中国や、アルシさんの住むイギリスについて理解を深める。人口を日本と比較したり、首都の位置や主な言語を確認したり、写真から気づくことを話し合ったりする。 Unit 9 で学習した表現のほかにも、5年生でこれまで学習した表現が出てくるので、音声聞きながら文字を指で追う活動を取り入れてもよい。 	<p>■尊敬する人や、その人の性格、できることなどを聞いて、理解することができる。《知識・技能》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■映像を見て、ユエンシュオさんやアルシさんが尊敬する人はどんな人か考えている。《思考・判断・表現》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p> <p>■世界の人々や、世界の国々の文化に対して関心を持ち、理解を深めようとしている。《態度》(行動観察・ふりかえりシートの点検)</p>

5年 CAN-DO リスト

□=聞く, S(やりとり)=話す(やりとり), S(発表)=話す(発表), R=読む, W=書く

Let's start 1-5 アルファベット, 教室で使う英語, 0-60の数字などを聞いたり, 言ったりすることができる。 □S(やりとり)	
Unit 1 [Goal] 名前や好きなものを言って, 自己紹介をすることができる。	
Hop!	自己紹介をするための言い方を知る。
Step 1	名前のつづりを聞いて理解したり, つづりをたずね合ったりすることができる。 □S(やりとり)
Step 2	好きなものを聞いて理解したり, 友達と好きなものをたずね合ったりすることができる。 □S(やりとり)
Jump!	自分の名前を名刺に書き, それを使って自己紹介をすることができる。 S(やりとり) W
[考える]	世界の小学生の自己紹介の映像を見て, 気がついたことについて考えている。
[深める]	初対面の人と親しくなるために, 自己紹介を工夫しようとしている。
Alphabet Time 1 アルファベットの大文字への理解を深めている。	
Unit 2 [Goal] 誕生日や誕生日にほしいプレゼントをたずね合うことができる。	
Hop!	誕生日や身の回りのものの言い方を知る。
Step 1	友達の誕生日を聞いて理解したり, 誕生日をたずね合ったりすることができる。 □S(やりとり)
Step 2	誕生日にほしいものを聞いて内容を理解したり, 誕生日にほしいものをたずね合ったりすることができる。 □S(やりとり)
Jump!	誕生日や誕生日にほしいものをたずね合い, 誕生日カレンダーを作ることができる。 S(やりとり) W
[考える]	各月の世界の祭りや行事の映像を見て, 気がついたことについて考えている。
[深める]	誕生日のプレゼントをあげるときや受け取るときの表現を工夫しようとしている。
Alphabet Time 2 アルファベットの小文字への理解を深めている。	
Unit 3 [Goal] 教科や曜日など時間割について伝えることができる。	
Hop!	教科や時間割の言い方を知る。
Step 1	好きな教科を聞いて理解したり, 好きな教科をたずね合ったりすることができる。 □S(やりとり)
Step 2	時間割を聞いて理解したり, 時間割についてたずね合ったりすることができる。 □S(やりとり)
Jump!	時間割についての音声を聞いて, 文字を指でさすことができる。 R オリジナル時間割を作って, 紹介することができる。 S(発表)
[考える]	世界の小学生が時間割を紹介する映像を見て, 気がついたことについて考えている。
[深める]	時間割について考え, 自身のこれからの学習に生かそうとしている。
Alphabet Time 3 アルファベットの大きい文字と小文字への理解を深めている。	
世界の友達 1 映像を見て, 世界の小学生についての理解を深めている。(好きな教科, 好きなもの)	
Unit 4 [Goal] 家の手伝いや1日の生活についてたずね合うことができる。	
Hop!	手伝いや1日の生活の言い方を知る。
Step 1	家でする手伝いについて, 何をどのくらいするのかを聞いて理解したり伝えたりすることができる。 □S(発表)
Step 2	1日の生活でいつ何をするかを聞いて理解したり, 放課後の生活についてたずね合ったりすることができる。 □S(やりとり)
Jump!	休日の過ごし方についての音声を聞いて, 文字を指でさすことができる。 R 友達と休日の過ごし方をたずね合うことができる。 S(やりとり)
[考える]	世界の小学生が1日の生活を紹介する映像を見て, 気がついたことについて考えている。
[深める]	友達の1日の生活の様子からわかったことを, 自分の生活に生かそうとしている。
Unit 5 [Goal] 自分や他の人ができることやできないことを紹介することができる。	
Hop!	スポーツや動作などの言い方を知る。
Step 1	できることやできないことを聞いて理解したり, 友達とできるかどうかをたずね合ったりすることができる。 □S(やりとり)
Step 2	できることを聞いて理解したり, 友達のできることやできないことを伝えて人物を当てたりすることができる。 □S(発表)
Jump!	できることについての音声を聞いて, 文字を指で追うことができる。 R 学校の先生にインタビューをして, 先生のできることやできないことを紹介することができる。 S(発表)
[考える]	世界の小学生ができることを紹介する映像を見て, 気がついたことについて考えている。
[深める]	友達ができることやできないことを聞いて, 返す言葉を工夫しようとしている。

5年 CAN-DO リスト

Unit 6 [Goal] 行きたい国やそこでできることを紹介することができる。	
Hop!	世界の国々の言い方を知る。
Step 1	世界の国でできることを聞いて理解したり, ある国でできることを伝えたりすることができる。 □□(発表)
Step 2	行きたい国と理由を聞いて理解したり, 友達と行きたい国とその理由をたずね合ったりすることができる。 □□(やりとり)
Jump!	行きたい国についての音声を聞いて, 文字を指で追うことができる。 R 行きたい国のポスターを作り, その国の魅力を紹介することができる。 □(発表) W
[考える]	世界の国々の紹介の映像を見て, 気がついたことについて考えている。
[深める]	友達が紹介した国について, もっと知りたいと思っている。
Unit 7 [Goal] 料理を注文したり, 値段をたずねたりする受け答えができる。	
Hop!	食べ物や飲み物, 値段の言い方を知る。
Step 1	注文したものを聞いて理解したり, カードを使って友達と料理を注文し合ったりすることができる。 □□(やりとり)
Step 2	食べ物の値段を聞いて理解したり, グループで友達の示すものの値段を当てたりすることができる。 □□(やりとり)
Jump!	レストランのメニューについての音声を聞いて, 文字を指でさすことができる。 R 客と店員役に分かれて, 値段をたずねながら昼食を注文するやりとりができる。 □(やりとり)
[考える]	世界の料理が味わえるお祭りの映像を見て, 気がついたことについて考えている。
[深める]	注文する料理を考えたり, 受け答えをしたりするときの表現を工夫しようとしている。
言葉について考えよう 相手とのよりよい関係をつくるため, 言葉について考えている。	
世界の友達 2 映像を見て, 世界の小学生についての理解を深めている。(1日の生活, 行きたい国)	
Unit 8 [Goal] 場所をたずねたり, 道案内をしたりする受け答えができる。	
Hop!	店や施設, 道案内の言い方を知る。
Step 1	ものがある場所を聞いて位置を理解したり, ものがある場所についてたずね合ったりすることができる。 □□(やりとり)
Step 2	道案内を聞いて理解したり, ゲストと案内役に分かれて, ある施設までの道案内をしたりすることができる。 □□(やりとり)
Jump!	道案内についての音声を聞いて, 文字を指で追うことができる。 R グループで自分たちの町を考え, 道案内をすることができる。 □(やりとり)
[考える]	世界の町のユニバーサルデザインの映像を見て, 気がついたことについて考えている。
[深める]	町のことを知らない人に道案内をするときの表現を工夫しようとしている。
Unit 9 [Goal] 職業や性格などを言っ, 身近なあこがれの人を紹介することができる。	
Hop!	人を紹介するための言い方を知る。
Step 1	人の職業を聞いて理解したり, ある職業のあこがれの人を紹介したりすることができる。 □□(発表)
Step 2	人の性格やできることを聞いて理解したり, 職業や性格などのヒントを出して人物当てクイズをしたりすることができる。 □□(発表)
Jump!	あこがれの人についての音声を聞いて, 文字を指で追うことができる。 R 職業や性格を伝えて, あこがれの人を紹介することができる。 □(発表) W
[考える]	世界の小学生があこがれの人を紹介する映像を見て, 気がついたことについて考えている。
[深める]	あこがれの人の話から, 身近な人についてもっと知りたいと思っている。
世界の友達 3 映像を見て, 世界の小学生についての理解を深めている。(尊敬する人)	

※ [Goal][考える][深める]は, 教科書内 各 Unit「ふりかえろう」の欄の内容と対応しています。

※ 新学習指導要領との関連について: [Goal]は3観点を含む目標であり, [考える]は主に思考力・判断力・表現力等に, [深める]は主に学びに向かう力, 人間性等に対応しています。なお, ここに挙げている目標や記述は一例であり, 各校の実態に合わせて, 多面的かつ多角的な目標設定と評価を行ってください。